



取扱説明書

ドリームステーション Pro
ドリームステーション Auto

目次

使用目的.....	1
重要	1
警告	1
注意	2
禁忌	2
記号解説	3
システムの内容物	3
フィリップス・レスピロニクス合同会社へのお問い合わせ	3
装置の概要	4
エアフィルタの取り付けと交換	5
装置の設置場所	6
装置へのAC電力供給	6
呼吸回路の接続	7
表示画面の操作	8
装置の起動	8
メニュー操作（治療オン）およびオプションの加湿器設定	9
ランプ機能	9
メニュー操作（治療オフ）	10
ブルートゥース® 機能	14
マスクフィットチェック機能	15
治療サマリー情報	15
自動高度補正機能	15
装置アラート	16
トラブルシューティング	20
アクセサリ	22
旅行先へ携帯するとき	23
装置のクリーニング	24
フィルタの洗浄と交換	24
呼吸回路の洗浄	24
修理	24
追記	25
仕様	26
廃棄方法	27
EMC情報	27
保証	裏表紙

使用目的

フィリップス・レスピロニクス製ドリームステーション システムは、体重30 kgを超える自発呼吸のある患者を対象として、閉塞性睡眠時無呼吸症候群（OSA）の治療のために気道陽圧療法を提供する装置です。この装置は、在宅または院内で使用します。

重要

この装置は、免許を有する医師の指示のもとでのみ使用してください。医療従事者は医師の処方に従い、正しい圧力設定を行ってください。

ドリームステーション システムでは可能な限り便利で快適なOSA治療を行うために複数のアクセサリが利用できます。処方された治療を安全で効果的に受けていただくために、フィリップス・レスピロニクス製アクセサリのみを使用してください。

警告

警告は、患者または装置の操作者に身体への傷害が生じる危険性を示しています。

- この取扱説明書は、参照資料としてご使用ください。この取扱説明書の指示は、この装置の使用に関する医師の指示より優先するものではありません。
- この取扱説明書をすべて読み、内容をご理解いただいた上で装置をご使用ください。
- この装置は生命維持を目的としたものではありません。
- この装置には、フィリップス・レスピロニクス合同会社または医療従事者が推奨するマスクおよびコネクタのみをご使用ください。装置がオンになっている適切に動作しているとき以外は、マスクを使用しないでください。マスクに付いた呼吸ポートは、絶対に塞がないでください。**警告の説明：**この装置は継続的な排気を可能にする呼吸ポートの付いた特殊なマスクまたはコネクタとの併用を前提としています。装置の電源が入って正常に機能しているときは、装置から送られる新しい空気によって呼気がマスクの呼吸ポートを通じて排出されます。ただし、装置が動作していない場合は、マスクを通じて新鮮な空気が十分に供給されず、呼吸を再呼吸する可能性があります。
- フルフェイスマスク（口と鼻の両方を覆うマスク）を使用している場合、マスクに安全バルブ（エントレインメントバルブ）が付いていなければなりません。
- このシステムで酸素を使用する場合、酸素供給が、医療用酸素に関する当該地域の規制に適合している必要があります。
- 酸素は燃焼を促進します。喫煙中や火気のある所では酸素を使用しないでください。
- このシステムで酸素を使用するときは、装置をオンにしてから酸素の供給をオンにしてください。オフにするときは、酸素をオフしてから、装置をオフにしてください。この順序を守ることにより、装置内に酸素が蓄積するのを防ぐことができます。**警告の説明：**装置が動作していないにもかかわらず酸素フローがオンのままになっていると、呼吸回路に送られる酸素が装置本体内に蓄積する場合があります。装置本体内に酸素が蓄積すると、火災が発生する危険性が生じます。
- このシステムで酸素を使用する場合は、装置と酸素供給源の間にフィリップス・レスピロニクス製プレッシャーバルブを呼吸回路と直列に装着してください。このプレッシャーバルブは、装置をオフにしたとき、呼吸回路から装置への酸素の逆流を防止します。プレッシャーバルブを使用しないと、火災が発生する可能性があります。
- 装置を未調整の酸素供給源、または高圧の酸素供給源に接続しないでください。
- 酸素または空気が混合した可燃性の麻酔薬がある環境、または亜酸化窒素がある環境では、この装置を使用しないでください。
- 有毒または有害な蒸気の付近では装置を使用しないでください。
- 室温が35°C以上の場合は、この装置を使用しないでください。装置を室温35°C以上で使用すると、エアフローの温度が43°Cを超える可能性があります。これにより患者の気道に炎症また障害を引き起こす恐れがあります。
- 直射日光の下または暖房器具の近くで装置を動作させないでください。この装置からの送気の温度が上昇する危険性があります。
- 睡眠時無呼吸の症状が再発する場合は、医師に問い合わせてください。
- この装置の動作に予期しない変化がある場合、異常音または騒音がある場合、この装置を落下させたり、誤使用した場合、水を本体内にこぼした場合は、または本体が破損した場合は、電源コードを抜き、使用を中止してください。フィリップス・レスピロニクス合同会社、または販売店に連絡してください。
- 修理および調整は、フィリップス・レスピロニクス合同会社が承認した販売店のみが行えます。未経験者や無資格者が修理や調整を行った場合には、傷害、保証の無効化、または金銭的損害を生じる可能性があります。
- フィリップス・レスピロニクス合同会社が推奨するアクセサリ、取り外し可能な部品、および水以外は使用しないでください。互換性のない部品またはアクセサリを使用することにより、装置の性能に影響が出る場合があります。
- フィリップス・レスピロニクス合同会社が承認したケーブルおよびアクセサリのみをご使用ください。誤用によりEMCの性能に影響が出る可能性があります。
- ドリームステーション内蔵のBluetooth機能は携帯電話と同等の取扱注意が必要です。総務省は、ペースメーカーとの干渉の可能性を避けるため、ペースメーカー等植え込み型医療機器の装着部位から15cm以上の分離距離を維持するよう推奨しています。
- フィリップス・レスピロニクス合同会社が提供する電源コードのみを使用してください。フィリップス・レスピロニクス合同会社が提供する電源コード以外を使用すると、装置の過熱または破損、装置の電磁妨害波の増加、耐ノイズ性の低下などの可能性があります。
- 他の未承認装置の上下に積み重ねたり、近くでこの装置を使用しないでください。
- 呼吸回路を引っ張ったり伸ばしたりしないでください。呼吸回路から漏れが発生する恐れがあります。
- 呼吸回路に破損や磨耗がないか点検してください。必要に応じて呼吸回路を破棄して交換してください。

- ・電源コードとケーブルは定期的に点検し、破損や磨耗の兆候がないかどうか確認してください。破損した部品は、使用を中止し、交換してください。
 - ・感電を避けるため、装置をクリーニングする前に電源コードを壁のコンセントから抜いてください。装置を液体に浸さないでください。
 - ・装置を複数の患者で使用する場合は、汚染を防ぐため、装置と呼吸回路の間にメインフローフィルタを必ず直列に装着してください。
 - ・電源コードは、つまずいたり、椅子やその他の家具の邪魔にならないようにコンセントから配置されていることを確認してください。
 - ・この装置は電源コードが接続されると通電状態になります。
 - ・安全のため、加温加湿器を使用する場合、加温加湿器を置く場所は、マスクの呼吸回路接続口よりも下になるように、また装置の呼吸回路接続口よりも下になるようにしてください。正しく動作させるため、加温加湿器は水平に置いてください。
- 注記：**保証の範囲については、この取扱説明書の「保証」のセクションをご確認ください。

注意

注意は、装置に損傷を与える可能性があることを示します。

- ・医用電気機器は、EMCに関して特別な注意が必要であり、EMC情報に従って設置する必要があります。EMC情報に従った設置については、医療従事者にお問い合わせください。
- ・移動式RF通信装置は医用電気装置に影響を及ぼすことがあります。
- ・ESD 警告記号が表示されているコネクタのピンには触れないでください。また特別な注意なしに接続を行わないでください。予防措置には、静電気帯電の発生を防ぐための手段（空気調整、加湿、導電性のフロアカバーの使用、合成繊維ではない衣服など）、装置またはシステムのフレーム、アース線に触れて電気を取り除くことが含まれます。この装置を取り扱う者は、少なくとも予防措置についてを理解することが推奨されます。
- ・装置を作動する前に、リンクモジュールまたはモデムのアクセサリが取り付けられていない場合には、SDカード／フィルタアクセスドアとアクセサリドアの両方が閉じていることを確認してください。アクセサリに添付されている取扱説明書を参照してください。
- ・結露によって装置が破損する可能性があります。本装置が非常に高温または低温にさらされていた場合は、治療を開始する前に室温（作動温度）になじませてください。仕様に記載された動作温度範囲外で装置を使用しないでください。
- ・装置には延長コードを使用しないでください。
- ・本装置側部にあるエアフィルタエリアが、寝具類、カーテン、またはその他で塞がれないようにしてください。システムを正しく動作させるには、装置の周囲に風が通るようにする必要があります。
- ・装置をじゅうたん、布、または他の可燃性物質の上に直接置かないでください。
- ・水を溜められる容器の中または上に装置を置かないでください。
- ・装置を正常に動作させるため、破損していない青色のリニューザブル花粉フィルタを正しく取り付けてください。
- ・タバコの煙は、装置内にタールが蓄積して装置が故障する原因につながることがあります。
- ・汚れた花粉フィルタは動作温度上昇の原因となり、装置の性能に影響を与えるおそれがあります。花粉フィルタが破損なく清潔に保たれているか、定期的に点検してください。
- ・濡れたフィルタは絶対に装置に取り付けしないでください。洗浄したフィルタは十分な時間をかけて乾燥させてください。
- ・DC電源をご使用の際は、使用前に、DC電源コードが治療装置に確実に挿入されていることを必ず確認してください。医療従事者またはフィリップス・レスピロニクス合同会社と連絡して、治療装置に適したDC電源コードであるかどうか調べてください。
- ・DC電源を自動車のバッテリーから得る場合、自動車のエンジンが稼働している間はこの装置を使用しないでください。装置が破損する可能性があります。
- ・フィリップス・レスピロニクス製DC電源コードのみを使用してください。フィリップス・レスピロニクス製品以外の製品と使用すると、この装置が破損する可能性があります。

禁忌

この装置使用のリスクと利点を評価する際、医療従事者はこの装置が最高20 cmH₂Oまでの圧力を供給できることを理解しておく必要があります。特定の不具合が生じた場合には、最大圧が40 cmH₂Oに達する可能性があります。次の病歴がある場合、一部の患者についてはCPAP治療の使用が禁忌となる場合があることが、研究の結果判明しています。

- ・嚢胞性肺疾患
- ・病的な低血圧
- ・上気道にバイパスがつけられている場合
- ・気胸症
- ・経鼻持続的陽圧呼吸療法患者で、頭蓋内気腫が報告されています。次のような症状を起こしやすい患者にCPAPを処方する際は注意が必要です。CSF（脳脊髄液）リーク、篩板の異常、頭部外傷の前歴、および頭蓋内気腫またはそのどちらか。
(Chest 1989; 96:1425-1426)

気道陽圧療法は、患者が副鼻腔炎や中耳炎の徴候を示した場合、一時的に禁忌となる可能性があります。上気道にバイパスがつけられている患者には使用できません。治療法に関してご不明な点がある場合は、医師にお問い合わせください。

記号解説

装置、電源アダプタ、アクセサリには以下の記号が表示されています。

記号	定義	記号	定義
	付属の説明書を参照してください。		航空機内での使用可。RTCA/DO-160Gセクション21、カテゴリーMに準拠。
	AC電源		
	DC電源		ブルートゥース®
IP22	防滴機器		RF送信機内蔵
	注意、添付文書を参照してください。	SpO2	オキシメータ接続
	ESD警告記号		シリアル接続
	クラスII（二重絶縁）		紫外線を避けてください。
	BF形装着部		分解禁止
	屋内使用のみ		

システムの内容物

ドリームステーションシステムには以下の品目が含まれています。

- ・ 装置本体
 - ・ 取扱説明書
 - ・ キャリングケース
 - ・ AC電源コード
 - ・ AC電源アダプタ (REF 1118499)
- ・ SDカード
 - ・ 呼吸回路
 - ・ リユーザブル花粉フィルタ
 - ・ ディスポーザブル極微細フィルタ（オプション）
 - ・ 加温加湿器（オプション）

注記：上記内容物に不足がある場合は、フィリップス・レスピロニクス合同会社または販売店にご連絡ください。

お問い合わせ

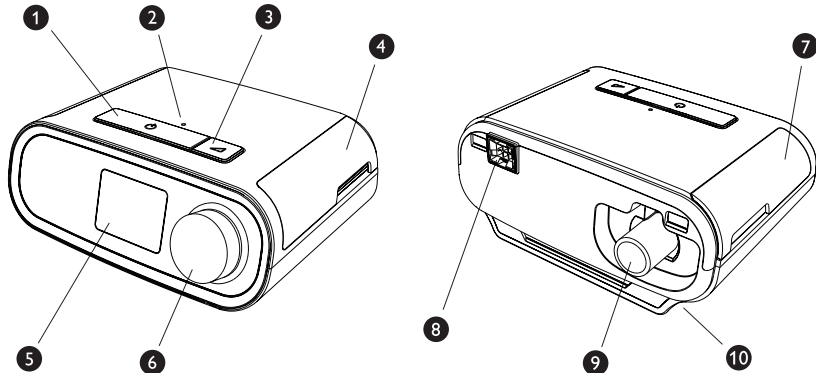
装置については、フィリップス・レスピロニクス合同会社の各地域営業所、または販売店にお問い合わせください。

装置の概要

ドリームステーションは、閉塞性睡眠時無呼吸症候群（OSA）の治療用として設計されたCPAP（持続的陽圧療法）装置です。ドリームステーション Autoは、CPAP治療またはオートCPAP治療を提供できます。医療従事者が医師の処方に従い、正しい圧力設定を行います。

装置は治療がより快適となるように特別な機能を備えています。ランプ機能とは、就寝の際に圧を弱める機能です。圧力は、処方圧力に達するまで、徐々に上昇します。またFlex機能により、治療中の呼気時に圧力を弱め、呼吸の負担を軽減します。

この装置では複数のアクセサリが利用できます。システムに含まれていないアクセサリを購入する際は、フィリップス・レスピロニクス合同会社または販売店にお問い合わせください。



この図では、以下の表で説明されている装置上の主要な操作ボタンが示されています。

番号	装置の機能	説明
1	治療オン/オフボタン 	治療の送気を開始/停止します。
2	周囲ライトセンサ	室内光の量を検知して、ディスプレイの明るさを調節します。
3	ランプボタン 	治療中にランプ機能を有効化します。
4	SDカード／フィルタアクセスドア	このドアを開くと、SDカードおよびフィルタ部分にアクセスできます。
5	ディスプレイ画面	治療装置のユーザーインターフェイスです。
6	コントロールダイヤル	ダイヤルを回すと、画面上のオプションをスクロール表示できます。オプションを選択するには、ダイヤルを押します。
7	アクセサリドア	このドアを開くと、（オプションの）アクセサリにアクセスできます。
8	加温加湿器接続端子	加温加湿器は、本治療装置の背面に接続します。加温加湿器の本体接続端子をここに取付けます。
9	送気口	ここに呼吸回路を接続します。
10	電源差込口	ここに電源コードを接続します。

エアフィルタの取り付けと交換

注意：装置を正常に動作させるため、破損していないフィリップス・レスピロニクス製の青色の花粉フィルタを正しく取り付けてください。

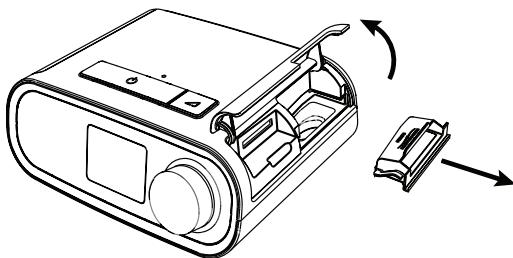
装置には、洗浄可能な青色のリユーザブル花粉フィルタ、およびオプションの水色のディスポーザブル極微細フィルタを使用します。リユーザブル花粉フィルタは通常の家庭のほこりや花粉を排除し、オプションの極微細フィルタは、微細粒子をさらに取り除きます。青色のリユーザブル花粉フィルタは、装置の稼働中は常時取り付けておく必要があります。極微細フィルタは、たばこの煙やその他の微粒子に敏感な方にお勧めします。

この装置には、青色のリユーザブル花粉フィルタが付属します。ディスポーザブル極微細フィルタが含まれているものもあります。受け取った装置にフィルタが取り付けられていない場合は、使用開始前に青色のリユーザブル花粉フィルタを必ず取り付けてください。

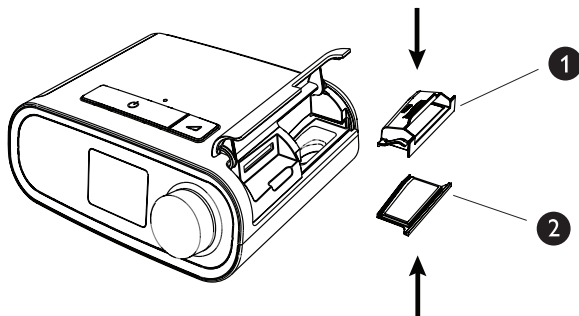
この装置にはエアフィルタ確認リマインド機能が備わっています。30日ごとに、フィルタの確認と交換を促すメッセージが表示されます。

注記：このメッセージはあくまで通知です。装置にはフィルタの性能を確認したり、フィルタの洗浄や交換を認識する機能はありません。

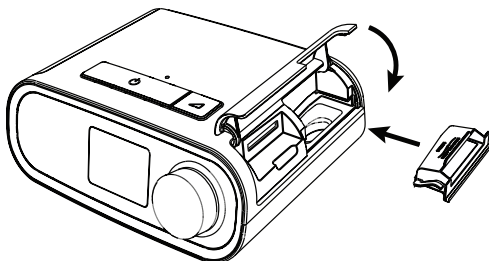
1. フィルタアクセスドアを上引き上げて開きます。交換の場合は、古いフィルタを取り外します。



2. 必要に応じて、洗浄したリユーザブル花粉フィルタ (1) をオプションのディスポーザブル花粉フィルタ (2) にしっかりとめ込みます。



3. 新しいフィルタを治療装置の側部に取り付けてフィルタアクセスドアを閉めます。



装置の設置場所

装置は、使用するとき手が届きやすい、安定した水平な場所に設置してください。装置が冷暖房器具（送気排気口、ラジエータ、エアコンなど）から離れた場所にあることを確認してください。

注記：装置をオフにするには電源を切ることが唯一の方法であるため、電源ケーブルに簡単にアクセスできるように装置を設置してください。

注意：装置側面のエアフィルタエリアが寝具やカーテンなどに塞がれていないかを確認してください。システムを正しく動作させるには、装置の周囲に風が通るようにする必要があります。

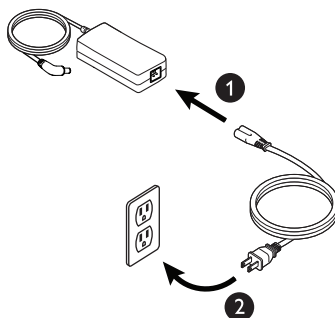
注意：装置をじゅうたん、布、または他の可燃性物質の上に直接置かないでください。

注意：水を溜められる容器の中または上に装置を置かないでください。

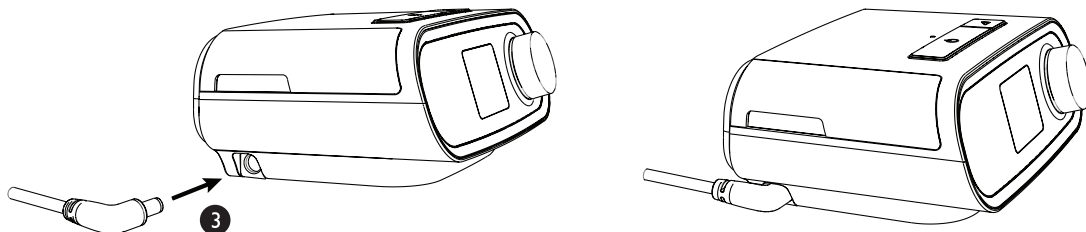
装置へのAC電力供給

AC電源で装置を動作させる場合は、次の手順に従ってください。

1. AC電源コード（同梱）のソケット側をAC電源アダプタ（同梱）に接続します。
2. AC電源コードの電源プラグをコンセントに差し込みます。ただし壁のスイッチでオン/オフを切り替えるコンセントは使用しないでください。



3. AC電源アダプタコードのコネクタを、本装置側部にある電源差込口に接続します。



4. 電源差込口、AC電源アダプタ、コンセントに確実に接続されていることを確認してください。これにより、信頼性の高い電気接続の確立が確保されます。

注記：以下の「電源を確認してください」アイコンが表示された場合は、手順4を繰り返してください。



重要：AC電源を遮断するには、AC電源アダプタコードをコンセントから外します。

警告：電源コードとケーブルは定期的な点検し、破損や磨耗の兆候がないかどうか確認してください。破損した部品は、使用を中止し、交換してください。

警告：装置には延長コードを使用しないでください。

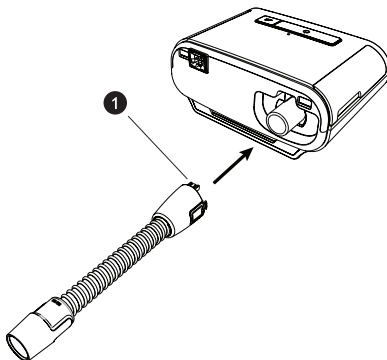
呼吸回路の接続

推奨される方法で回路を組み立てるために次のアクセサリが必要です。

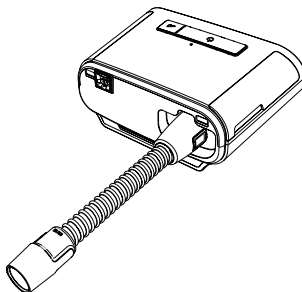
- 呼吸ポートを内蔵したフィリップス・レスピロニクス製マスク（ネーザルマスクやフルフェイスマスク）、または呼吸具がマスクから独立しているフィリップス・レスピロニクス製マスク
- フィリップス・レスピロニクス製1.83 mの22 mm（または15 mm）呼吸回路
- フィリップス・レスピロニクス製ヘッドギア（マスク用）

次の手順に従って、装置に呼吸回路を接続します。

1. 呼吸回路を治療装置背面の送気口に接続します。ヒートドチューブのコネクタ（1）を、装置背面の送気口に合わせます。



2. 呼吸回路のコネクタを送気口のスロットにあわせ、カチッと音がするまで差し込みます。



注記：ヒートドチューブの代わりにスタンダードチューブ（図示なし）を使用する場合は、呼吸回路を治療装置の送気口に接続します。

注記：必要な場合は、装置の送気口にメインフローフィルタを装着してから、呼吸回路を接続します。メインフローフィルタを使用する場合は、装置の性能に影響する可能性があります。装置の機能や治療圧の送気には影響はありません。

3. 呼吸回路をマスクに接続します。マスクに添付されている取扱説明書を参照してください。

警告：呼吸回路を引っ張ったり伸ばしたりしないでください。呼吸回路から漏れが発生する恐れがあります。

警告：呼吸回路に破損や磨耗がないか点検してください。必要に応じて呼吸回路を破棄して交換してください。

4. 必要に応じて、ヘッドギアをマスクに取り付けます。装着については、ヘッドギアに添付されている取扱説明書を参照してください。

警告：フルフェイスマスク（口と鼻の両方を覆うマスク）を使用する場合は、必ずマスクに安全バルブ（エントレインメントバルブ）取付けてください。

警告：装置を複数の患者で使用する場合は、感染を防ぐため、装置と呼吸回路の間にメインフローフィルタを必ず直列に装着してください。

表示画面の操作

装置のユーザーインターフェイス（UI）を使用して、装置設定の変更や治療に関する情報を表示させることができます。ユーザーインターフェイスは、ディスプレイ画面とコントロールダイヤルで構成されます。コントロールダイヤルを左右に回転させると、ディスプレイ画面上でメニューオプションをスクロール表示させることができます。

注記：ディスプレイ画面はタッチスクリーンではありません。メニューの操作にはコントロールダイヤルを使用してください。

設定の変更方法：

1. コントロールダイヤルを回転させて所望のメニューオプションに合わせます。
2. コントロールダイヤルを押して、その設定を選択します。
3. コントロールダイヤルを回転させて、設定を変更します。
4. コントロールダイヤルを再度押して、その設定を保存します。

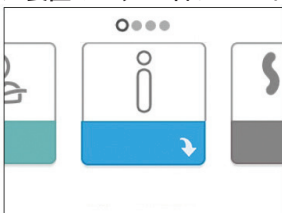
注記：「ダイヤル回転」アイコンが画面上に表示されたら、アクション実行にはダイヤルを回転させる必要があることを意味します。「ダイヤルクリック」アイコンが画面上に表示されたら、アクション実行にはダイヤルを押す必要があることを意味します。

注記：下矢印が画面上に現れたときにダイヤルを押すと、より多くのメニューオプションのあるサブメニューが表示されます。上矢印がサブメニュー上に現れたときにダイヤルを押すと、メインメニューに戻ります。

注記：本取扱説明書で示されている画面は、参照のみを目的とした例です。実際の画面は、装置モデルおよび供給会社の設定により異なる場合があります。

装置の起動

1. 装置に電源を入れてください。最初の画面にフィリップス・レスピロニクス合同会社のロゴが表示され、その後、装置のモデル名およびホーム画面が表示されます。



ホーム画面

初めて装置の電源を入れた際は、装置上の時刻を設定するようメッセージが表示されます。初期設定ではグリニッジ標準時間が設定されていますが、30分刻みで調整し、地域の時刻に合わせることができます。後で時刻設定を行う場合は、「ユーザー設定」からメニューを選択し、変更してください。

注記：ここで設定した時刻は、装置上の時計として表示されません。治療データのレポート上で表示される際に使用されます。

2. マスクを装着します。マスクに添付されている取扱説明書を参照してください。
3. 本装置上部にある治療オン/オフボタン（）を押して、治療を開始します。現在の設定圧力が画面上に表示されます。
4. マスクから空気がリークしていないか確認してください。リークがなくなるよう、必要に応じてマスクとヘッドギアを調節します。詳細については、マスクに添付されている取扱説明書を参照してください。
5. ヘッドボードが付いたベッドで装置を使用する場合は、ヘッドボードの上に呼吸回路を配置してください。マスクにかかる力が減少できる場合があります。
6. 治療オン/オフボタンをもう一度押して、治療をオフにします。

注記：治療中に電源が切れた場合（停電など）、電力が復旧するとホーム画面に戻ります。必要に応じて治療を再開してください。

メニュー操作（治療オン） およびオプションの加湿器設定

装置から治療圧が送られている際に、呼吸回路温度または加湿器設定を調節することができます。コントロールダイヤルを回転させて、いずれかの設定を選択します。コントロールダイヤルを押し、回転させて設定を変更します。

注記： ヒートッドチューブなしで加温加湿器を使用している場合は、コントロールダイヤルを回転させて加湿器設定を変更してください。



治療圧画面

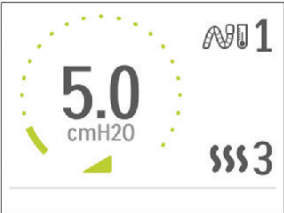
番号	機能	説明
1	治療圧	現在の供給圧を表示します。
2	回路温度設定	0～5段階で調整が可能です。オプションのヒートッドチューブが接続されている場合のみ表示されます。
3	加湿器設定	0～5段階で調整が可能です。加温加湿器が取付けられている場合のみ表示されます。
4	有効機能	設定における有効な治療機能が表示されます。

ランプ機能

装置にはオプションのランプ機能が備わっており、医療従事者がこの機能をオンまたはオフにすることができます。この機能を使用すれば、就寝時の圧力を最初に弱く、徐々に上昇させて処方圧に近づけていくので、より快適に就寝できるようになります。

お使いの装置でランプ機能がオンになっている場合は、送気をオンにした後、装置上部にあるランプボタン（)を押してください。ランプボタンは夜間に何度でも使用できます。

ランプボタンを押すと、ランプ圧が表示され、圧力が徐々に上昇するのを緑の円で表示します。

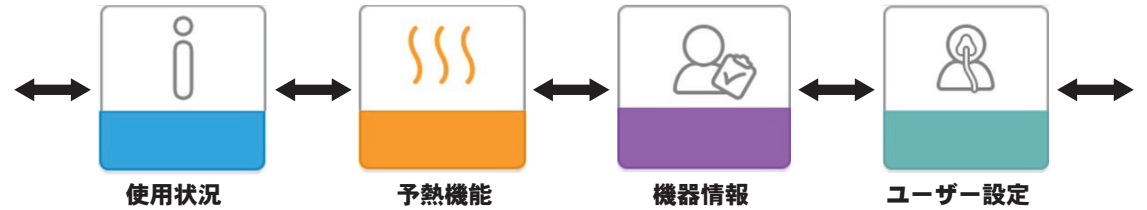


ランプ圧画面

装置には2種類のランプ機能があります。医療従事者がいずれかを選択します。標準のランプ機能は、圧力を一定の速度で上げていきます。一方SmartRamp機能は、装置がより高い圧力が必要であると検知するまで、低い圧力を保ちます。

メニュー操作（治療オフ）

ホーム画面から、次の4つのオプションをスクロールすることができます。



- 使用状況：**このメニューには、治療データが表示されます。
- 予熱機能：**この機能では、治療を開始する前に加温加湿器を30分間暖めることができます。
- 機器情報：**このメニューには、電話で指示を受ける場合に必要の情報が表示され、その情報を読み上げるようフィリップス・レスピロニクス合同会社または販売店から指示を受ける場合があります。
- ユーザー設定：**このメニューには、必要に応じて調節可能な設定が表示されます。

使用状況：



「使用状況」を選択すると、以下の画面が表示されます。このメニューの設定を変えることはできません。これらの画面は参照のみを目的としています。フィリップス・レスピロニクス合同会社または販売店がこれらの情報について確認する場合があります。

アイコン	テキスト	説明
	治療時間	この画面には、最新の1日において患者が実際に治療を受けた時間の長さが表示されます。また、実際に治療を受けた時間の長さが、7日間および30日間の平均で表示されます。
AHI	AHI	この画面には、最新の1日について、夜の無呼吸/低呼吸指数（AHI）を表示されます。また、7日間および30日間におけるAHIを表示しています。この画面は、医療従事者がこの機能をオンにした場合のみ表示されます。
	マスクフィット率	この画面には、「100%からラージリークを差し引いた」値が表示されます。ラージリーク（％）とは、統計的に呼吸イベントを判断できないほどマスクからリークがある時間の割合です。最新の1日について、また、7日間および30日間における値が表示されます。この画面は、医療従事者がこの機能をオンにした場合のみ表示されます。
CSR	周期性呼吸	この画面には、周期性呼吸が起こっている時間の割合が表示されます。最新1日について、また、7日間および30日間における平均値を表示します。この画面において周期性呼吸の時間の割合に大きな増加が見られた場合は、医療従事者に連絡してください。この画面は、医療従事者がこの機能をオンにした場合のみ表示されます。
90%	90%治療圧	この画面には、最新1日の90%治療圧が表示されます。また、7日間および30日間における90%治療圧の平均値も表示されます。ドリームステーション Autoでのみ表示されます。

予熱機能：



予熱オン画面



予熱オフ画面

加温加湿器を使用する場合、治療を開始する前に水タンクを最大30分間予熱することができます。予熱機能を使用するにはブLOWERがオフになっており、かつ加温加湿器が取り付けられている必要があります。「予熱機能」を選択すると、コントロールダイヤルを回して「オン」または「オフ」を選択することができます。コントロールダイヤルを再度押して、選択してください。30分間の予熱中でも、コントロールダイヤルを使用してホーム画面から他のメニューオプションを選択することができます。

注記：この画面は、加温加湿器が接続されている場合のみ表示されます。

機器情報：



「機器情報」を選択すると、以下の画面が表示されます。機器情報メニューの設定を変えることはできません。これらの画面は参照のみを目的としています。フィリップス・レスピロニクス合同会社または販売店がこれらの情報について確認する場合があります。

アイコン	テキスト	説明
	機器設定	この画面には、シリアル番号、モデル、ソフトウェアバージョンなどの治療装置の情報が表示されます。
	データ転送	オプションのセルラーモデムが接続されている場合、モデムとの交信を開始します。信号強度は、この画面の右上に表示されます。データ転送が完了すると、データ転送成功の場合は緑のチェックマークと「完了」の文字が表示されます。またはデータ転送失敗の赤い×マークと「失敗」の文字が表示されます。データ転送に失敗した場合は、もう一度データ転送を開始してください。問題が続く場合は、フィリップス・レスピロニクス合同会社または販売店に連絡してください。この画面はモデム設定がオフになるとロックされます。

アイコン	テキスト	説明
	動作テスト	この装置には「動作テスト機能」という自己診断機能が搭載されています。これにより、特定のエラーについて装置を評価することが出来ます。また、主な機器設定を医療従事者と共有することができます。医療従事者もしくはフィリップス・レスピロニクス合同会社から指示を受けた際に動作テストを行ってください。 完了時、問題が検出されなかった場合は緑のチェックマークがディスプレイ画面に表示されます。赤い「×」マークが表示された場合は、フィリップス・レスピロニクス合同会社または販売店に連絡してください。

ユーザー設定：



「ユーザー設定」を選択すると、以下の画面が表示されます。このメニューの設定を変えることはできません。これらの画面は、お使いの装置で設定可能である場合にのみ表示されます。

アイコン	テキスト	説明
	ランプスタート圧	ランプスタート圧が表示されます。スタート圧は0.5 cmH ₂ O刻みで増減することができます。
FLEX	Flex	治療中の呼吸時に感じる圧力を調整できます。この機能は医療従事者がオンにしたり、オフにすることができます。医療従事者がFlexをオンにした場合、Flex設定は医療従事者によって設定されます。ご自身でも1から3の間で設定を調整できます。設定「1」のときは圧力がわずかに弱まり、数値が大きくなるほどリリースされる圧力が大きくなります。 注記：医療従事者がこの機能をロックした場合は、設定の隣にカギのアイコン  が表示され、設定変更ができません。
	加湿モード	現在設定されている加湿モードが表示されます。標準加湿またはアドバンス加湿を選択することができます。ヒートッドチューブを使用している場合は、自動的にヒートッドチューブ加湿モードに切り替わります。鍵のアイコンがモード設定の横に表示されている場合、ヒートッドチューブが装置に接続されている限り加湿モードの変更はできません。ただしヒータープレートおよび呼吸回路の温度設定は、装置の治療画面から通常通り調整することができます。
	マスクタイプ	フィリップス・レスピロニクス製マスクに合わせて、マスクタイプレジスタンス設定（またはSystemOneレジスタンスコントロール）を選択できます。この設定により、マスクに合わせて圧力リリースレベルを調整します。お使いのマスクのレジスタンス設定を確認する場合は、マスクの取扱説明書を参照するか、フィリップス・レスピロニクス合同会社または販売店にお問い合わせください。 注記：医療従事者がこの設定をロックした場合は、レベルを変更することができません。

アイコン	テキスト	説明
	呼吸回路タイプ	装置に使用する呼吸回路の直径サイズ選択できます。フィリップス・レスピロニクス製22 mm呼吸回路には「22」、またはオプションのフィリップス・レスピロニクス製15 mm呼吸回路には「15」が選択できます。ヒートドチューブを使用する場合は、装置がこの設定を適切な呼吸回路タイプ（15H）に自動的に変更し、ユーザーによる変更はできません。 注記：呼吸回路はカフに記載されている「15」または「22」で識別することができます。 注記：医療従事者がこの設定をロックした場合、レベルを変更することはできません。
	言語	ディスプレイ画面上で表示する言語を選択できます。日本語以外の言語に変更することもできます。オフ（0）にすると、ディスプレイ画面上でアイコンのみ表示させることができます。
	マスクフィットチェック	治療開始前にマスクのフィット具合を確認することができます。これは、リーク量を測定して行います。
	モデム	モデムをオフにする、またはオンにすることができます。モデムをオフにすると、3日後に自動的にオンになります。モデムが接続されている場合にのみ表示されます。
	ブルートゥース	ブルートゥースをオンまたはオフにすることができます。また、ブルートゥース対応機器とのペアリングを切断することもできます。
	時刻設定	時刻を変更することができます。初期設定ではグリニッジ標準時間が設定されていますが、30分刻みで調整し、地域の時刻に合わせることができます。 注記：ここで設定した時刻は、装置上の時計として表示されません。治療データのレポート上で表示される際に使用されます。

Bluetooth® 機能

この装置にはBluetooth®機能が搭載されており、治療装置のデータを販売業者が指定するBluetooth®対応機器に転送することができます。

治療装置とBluetooth®対応機器とのペアリング

注記：治療装置にペアリングできるBluetooth®対応機器は、常時1つのみです。

注記：ペアリングは、治療装置とBluetooth®対応機器が同じ室内にある場合に行ってください。

注記：ペアリング開始後、30秒以内にセットアップを完了する必要があります。30秒を過ぎると、自動的にキャンセルされます。

下記の手順に従い、手動で対象のBluetooth®対応機器をペアリングします。

1. 治療装置の電源を入れてブローワーをオフにし、対象のBluetooth®対応機器からセットアップを開始します。
2. 利用可能なBluetooth®対応機器のリストから選択する必要がある場合、「PR BT XXXX」と表示された装置を選択してください（XXXXは治療装置に記載されているシリアル番号末尾の4桁です）。
3. 以下の方法のいずれかで、ペアリングを確認してください。

• PINコードの入力を求められた場合

以下のアイコンが、治療装置のディスプレイ画面上に「ペアリングしますか？」のメッセージとあわせて表示されます：



治療装置のコントロールダイヤルを回して「はい」を選択し、コントロールダイヤルを押します。治療装置に6桁のPINコードが表示されます。このPINコードをお使いのBluetooth®対応機器に入力してペアリングを完了します。

• PINコードの確認を求められた場合

以下のアイコンが、治療装置のディスプレイ画面上に6桁のPINコードおよび「ペアリングしますか？」のメッセージとあわせて表示されます：



そのPINコードが、治療装置およびお使いのBluetooth®対応機器で表示されている番号と同じであることを確認してください。同じ場合は、治療装置のコントロールダイヤルを回して「はい」を選択し、コントロールダイヤルを押します。次に、お使いのBluetooth®対応機器で承認してペアリングを完了します。

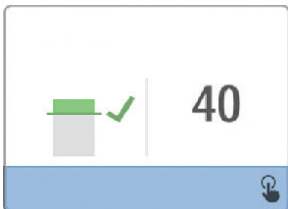
マスクフィットチェック機能

オプションのマスクフィットチェック機能は、医療従事者がオンまたはオフにすることができます。この機能により、治療開始前にマスクのフィット具合を確認することができます。これは、呼吸回路内のリーク量を測定して行います。

必要に応じてマスクの取扱説明書を参照してください。

まず、マスクを装着してください。「ユーザー設定」からマスクフィットチェック画面を選択し、コントロールダイヤルを押してチェックを開始します。

装置からテスト圧が送られ、ディスプレイ画面に40秒間のカウントダウンが表示されます。緑のバーは、適切にフィットしていることを示し、赤いバーは調整が必要であることを示しています。チェック完了後は通常の治療が開始され、ディスプレイ画面には緑のチェックマークまたは赤い「×」マークが表示されます。緑のチェックマークは、装置の性能が適切に保たれていることを示します。赤い「×」マークは、リークにより治療効果に影響が出る可能性を示しています。

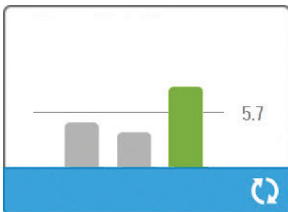


マスクフィットチェック画面

注記：マスクを調節すると選択した場合、治療を停止してマスクを調節し、マスクフィットチェックに戻ることができます。適切な装着方法については、マスクおよびヘッドギアに添付されている取扱説明書を参照してください。

治療サマリー情報

この装置は、治療をオフにする際に、治療に関するサマリー情報を表示します。ディスプレイ画面には「3日間のサマリー」が表示されます。ここには、過去3日間の睡眠セッションの使用状況（毎日正午で区切った24時間ごとの測定値）が表示されます。一番右に最新のセッションが表示され、就寝時間が記録されます。緑のバーは使用時間が4時間以上であったことを示し、黄色のバーは使用時間が4時間未満であったことを示しています。



3日間のサマリー画面

自動高度補正機能

この装置は、最大2286 mまで高度を自動的に補正します。手動で調整する必要はありません。

装置アラート

装置アラートは、ディスプレイ画面に表示されるポップアップメッセージです。5種類のアラートの説明は以下の通りです：

- ・ **ステータス**：ポップアップメッセージのみ表示されるアラートです。
- ・ **通知**：ポップアップメッセージに加え、装置上部の電源LED (●) が点滅するアラートです。
- ・ **アラート1**：ポップアップメッセージ、電源LEDの点滅、および表示時のブザー音からなるアラートです。このアラートは治療中には発生しません。
- ・ **アラート2**：ポップアップメッセージ、電源LEDの点滅、および表示時のブザー音からなるアラートです。このアラートは治療中に発生する場合があります。
- ・ **安全状態**：ポップアップメッセージ、電源LEDの点滅、およびブザー音を繰り返すアラートです。

注記：ステータスアラートは、30秒後に自動的にタイムアウトとなりポップアップメッセージが消えます。その他のアラートは、確認の上消してください。

アラート一覧表：次の表はアラートの概要を示しています。

アラート	アイコン表示	アラートタイプ	装置の状態	考えられる原因	対応
データ転送中：SDカードを取り外さないでください		ステータス	SDカードの読み取り／書き込みを行っています。	なし	対応の必要はありません。
変更されました		ステータス	処方の変更または装置のアップグレードの確認です。	なし	対応の必要はありません。
EZ-Start 圧力がxx.xまでランプ中		ステータス	EZ-Start機能がオンになっていて、装置が次のセッションに向けて治療圧設定を上げていることを示します。	なし	対応の必要はありません。
良好なオキシメータ接続	SpO₂ 	ステータス	ブロワがオンになっていて、オキシメータの良好な接続状態が3秒間検知されると、治療開始時に表示されます。治療が再開されない限り、SpO ₂ センサを取り外して再度装着してもこの画面は表示されません。	なし	対応の必要はありません。
ペアリングしますか？：123456 はい/いいえ		ステータス	ブルートゥース®対応機器へのペアリングを承諾または拒否するメッセージです。この装置は表示される番号によって識別されます。	なし	コントロールダイヤルを回してペアリングを承諾（はい）または拒否（いいえ）を選択し、コントロールダイヤルを押して決定します。

アラート	アイコン表示	アラートタイプ	装置の状態	考えられる原因	対応
SDカードが入っていません		通知 またはアラート2	治療装置からSDカードが取り出され、現在の治療を開始する前に再度挿入されていないことを示します。	SDカードが治療装置に挿入されていません。	SDカードを挿入します。またはクリックしてアラートを消します。
良好なオキシメータ接続	SpO ₂ 	通知	治療および酸素測定時間が4時間を越えたことを示すメッセージです。治療終了時に表示されます。	なし	コントロールダイヤルを押してメッセージを消します。
SDカードエラー：取出して再挿入してください		通知	SDカードのエラーが検出されました。	装置がSDカードを読み取れません。SDカードに問題があるか、書き込み中に取り出された、もしくは正しく挿入されていない可能性があります。	SDカードを取り出し、再挿入してください。アラートが続く場合は、別のカードに交換するか、フィリップス・レスピロニクスまたは販売店にご連絡ください。
SDカード容量が一杯です		通知	SDカード容量が一杯です。	SDカード容量が一杯です。	SDカードを取り出し、新しいカードと交換してください。フィリップス・レスピロニクスまたは販売店に連絡して新しいカードを受け取ってください。
患者メッセージ		通知	医療機関またはフィリップス・レスピロニクス合同会社からのメッセージです。	なし	コントロールダイヤルを押してメッセージを消します。
変更できません		アラート1	処方または設定を変更できません	変更が入力されていないか、正しく入力されていません。	供給会社までご連絡ください。
加湿器エラー：問題が解決しない場合は、お問い合わせ先にご連絡ください。		ステータス	加温加湿器のエラーです（加温加湿器が接続されている場合のみ）。	加温加湿器ヒータープレートのエラー、または加温加湿器が治療装置に適切に接続されていません。	装置の電源をオフにして、電源を抜いてください。加温加湿器を取り外し、電気系統に問題がないか目視で確認します。加温加湿器および電源コードを再度接続してください。アラートが続く場合はお問い合わせ先にご連絡ください。

アラート	アイコン表示	アラートタイプ	装置の状態	考えられる原因	対応
ヒートッドチューブエラー：問題が解決しない場合は、お問い合わせ先にご連絡ください。		ステータス	ヒートッドチューブのエラーです（ヒートッドチューブを使用している場合のみ）。	ヒートッドチューブが過熱、または破損している可能性があります。	装置の電源をオフにします。ヒートッドチューブを加温加湿器から取り外し、回路が遮蔽されたり塞がっていないことを確認して、加温加湿器を再度接続してください。アラートが続く場合はお問い合わせ先にご連絡ください。
この電源アダプタは加温加湿器に対応していません。		アラート2	接続されている電源アダプタは、加温加湿器またはヒートッドチューブに対応していないことを示しています。	対応していない電源アダプタが接続されています。	加温加湿器に対応したフィリップス・レスピロニクス製ドリームステーション用電源アダプタに交換してください。または加温加湿器を取り外して、治療装置だけを使用してください。
修理必要		安全状態	装置を「安全状態」に切り替えるエラーが起ったことを示します。これにより電源はオンのままですが、エアフローがオフになります。	装置にエラーが発生しています。	コントロールダイヤルを押してブザー音を止めます。装置の電源を抜いてください。電源コードを再度接続し、電源を入れます。アラートが続く場合はお問い合わせ先にご連絡してください。
電源を確認してください。		通知	対応していない電源が接続されています。	電源が対応していない、または電源コードが装置の電源差込口に適切に挿入されていません。	電源コードが装置の電源差込口に適切に挿入されていることを確認してください。装置に対応しているフィリップス・レスピロニクス製電源アダプタが装着されていることを確認します。必要に応じて装置に対応している電源アダプタに交換してください。
電圧が下がっています。		通知	電圧が下がっています。	対応していない電源が接続されています。	装置に対応しているフィリップス・レスピロニクス製電源アダプタが装着されていることを確認します。必要に応じて装置に対応している電源アダプタに交換してください。バッテリーを使用している場合、バッテリーが適切に充電されていることを確認してください。

アラート	アイコン表示	アラートタイプ	装置の状態	考えられる原因	対応
オートオフ		ステータス	オートオフ機能により治療が終了したことを示します。	マスクが外れました。	マスクを装着し直して、送気を再開し、治療を続けてください。
吸気口が塞がっています。フィルタをチェックしてください。		通知	送気の経路が塞がっています。	送気口が塞がっています。	装置の吸気口が塞がっていないことを確認します。エアフィルタが正しく取り付けられ、清潔に保たれていることを確認し、必要に応じて交換してください。
マスクと呼吸回路を確認してください。		通知	送気の経路が塞がっています。	呼吸回路またはマスクが塞がっています。	呼吸回路が、つぶれやねじれによって送気を塞いでいないことを確認してください。マスクが正しく装着され、塞がっていないことを確認します。
マスクフィットチェック機能	なし	ステータス	ユーザーメニューでマスクフィットチェック機能をオンにすると表示されます。	なし	このアラートは、コントロールダイヤルを押して消すことができます。または60秒後にタイムアウトになります。
言語を読み込んで再起動しています		ステータス	メニューから新しい言語を選択したときに表示されます。	なし	対応の必要はありません。完了時にタイムアウトとなります。
しばらくお待ちください。		ステータス	データ通信により一時的に装置にアクセスできないときに表示されます。	なし	対応の必要はありません。
治療サマリー情報	なし	ステータス	過去3日間の使用時間が表示されます。	なし	コントロールダイヤルを押してメッセージを消します。または30秒後にタイムアウトになります。

トラブルシューティング

この装置には「動作テスト機能」という自己診断機能が搭載されています。これにより、特定のエラーについて装置を評価することが出来ます。また、主な機器設定を医療従事者と共有することができます。医療従事者もしくはフィリップス・レスピロニクス合同会社から指示を受けた際に動作テストを行ってください。

以下の一覧表では、装置に関連して発生する可能性がある問題と、それについて考えられる解決方法を示します。

問題	発生の原因	解決法
電源を接続しても装置が動作しない。ボタンのバックライトが点灯しない。	コンセントに電気がきていない、もしくは装置の電源が正しく接続されていません。	AC電源を使用している場合は、コンセントを確認し、装置が正しく接続されていることを確認します。コンセントに電源がきていることを確認してください。AC電源コードがAC電源アダプタに正しく接続されていることと、AC電源アダプタコードが装置の電源差込口にしっかりと差し込まれていることを確認してください。問題が続く場合は、フィリップス・レスピロニクス合同会社または販売店に連絡してください。販売店で装置と電源アダプタのどちらに問題があるかを確認できるよう、装置と電源アダプタの両方を返却してください。 DC電源を使用している場合は、DC電源コードとバッテリーアダプタケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。バッテリーを確認してください。充電または交換が必要な場合があります。問題が続く場合は、DC電源コードに添付された取扱説明書にしたがってDC電源コードのヒューズを確認してください。ヒューズの交換が必要な場合があります。それでも問題が解決しない場合は、フィリップス・レスピロニクス合同会社または販売店に連絡してください。
送気がオンにならない。	ブロウに問題が生じた可能性があります。	装置の電源が正しく入っていることを確認してください。ディスプレイ画面にホーム画面が表示されていることを確認してください。装置上部にある治療オン／オフボタンを押して、送気をオンにします。 送気がオンにならない場合は、装置に問題がある可能性があります。フィリップス・レスピロニクス合同会社または販売店に連絡してください。
装置の表示がおかしい。	装置を落下させたか、誤操作をしたか、もしくは装置が電磁干渉 (EMI) の強い場所に置かれています。	装置の電源を一旦抜いてください。もう一度電源を入れてください。問題が続く場合には、装置をEMIの少ない場所（携帯電話、コードレス電話、コンピュータ、テレビ、電子ゲーム、ヘッドライヤーなどの電子機器から離れた場所）に置いてください。それでも問題が解決しない場合は、フィリップス・レスピロニクス合同会社または販売店にご連絡ください。
ランプボタンを押してもランプ機能が作動しない。	医療従事者がランプ機能を処方していないか、または治療圧が既に最小値に設定されています。	ランプが処方されていない場合には、医療従事者に相談し、処方を変更してランプを設定するかどうか決めてください。 医療従事者がランプをオンにしているにもかかわらずこの機能が動作しない場合は、治療画面で圧力設定を確認してください。治療圧が最小値に設定されている場合（4.0 hPa (cm H ₂ O)）、またはランプスタート圧が処方圧と同じである場合、ランプ機能は働きません。ランプ時間の設定が>0であることを確認してください。
送気が通常よりかなり熱く感じられる。	エアフィルタが汚れている可能性があります。装置が直射日光の下またはヒーターの近くで動作している可能性があります。	フィルタを洗浄、もしくは交換してください。 送気温度は、室温によって多少変わることがあります。装置の周辺の通気が良いことを確認してください。空気の流れが妨げられることのないように、装置を寝具やカーテンから離してください。装置を直射日光の下や暖房器具の近くに置かないでください。 加温加湿器と共に使用する場合は、加温加湿器の設定を確認してください。加温加湿器の取扱説明書を参照して、加温加湿器が正しく動作していることを確認してください。 問題が続く場合は、フィリップス・レスピロニクス合同会社または販売店に連絡してください。
送気圧が高い、または低いように感じる。	呼吸回路タイプの設定が正しくありません。	呼吸回路タイプの設定（22または15）がご使用の呼吸回路（フィリップス・レスピロニクス製22 mm呼吸回路または15 mm呼吸回路）と一致していることを確認してください。 ヒーテッドチューブを使用する場合は、この設定が15Hになり、自分で変更することができなくなります。

問題	発生の原因	解決法
設定画面で回路温度設定をオンにしたが、ヒートッドチューブが温かくない。	間違った電源アダプタを使用しています。	80 Wの電源アダプタを使用している、互換性のあるバッテリーまたはDC接続ケーブルを使用していることを確認してください。
加湿器設定またはヒートッドチューブ温度設定の調節ができない。	ブロウがオンになっていない、または加温加湿器がヒートッドチューブが適切に接続されていません。	加湿器設定および回路温度設定は、治療装置の治療オン画面でのみ調節することができます。ブロウがオンになっていること、またディスプレイ画面右側に設定項目が表示されていることを確認し、その後レベルを調節してください。ブロウがオンになっているにも関わらず、加湿器設定が治療オン画面に表示されない場合は、治療装置の電源を抜いてください。加温加湿器および／またはヒートッドチューブの電気系統に障害や破損がないかを確認します。その後、加温加湿器および／またはヒートッドチューブを再度接続し、治療装置の電源を接続し直します。ブロウをオンにします。それでも設定項目が表示されない場合は、フィリップス・レスピロニクス合同会社か販売店に連絡してください。
水タンクが朝になる前に空になってしまう。	セッション開始時に水タンクが満タンではなかった、マスクの漏れが多すぎる、または周囲環境が非常に乾燥または冷えています。	ほとんどの条件下では、水タンクが満タンであれば通常の睡眠セッション中は加湿することができます。ただし、寝室の周囲温度や湿度、加温加湿器やヒートッドチューブの設定、マスクからのリーク量、および睡眠セッションの長さなど条件により、水の減り方が変化します。 まず、水タンクに水を注水線まで入れてからセッションを開始してください。マスクが適切にフィットしているかを確認し、マスクからの漏れをおさえるために必要に応じて調整してください。マスクフィットチェック機能を使用して、マスクのフィット率を評価します。また、装置、加温加湿器、加湿器フタシール、呼吸回路が適切に接続され、漏れがないことを確認してください。加温加湿器および／またはヒートッドチューブの設定を下げるか、加湿器モードを温度調整加湿から湿度調整加湿に変更すると、加温加湿器の水の減りが遅くなる場合があります。
治療装置からリーク音やヒューヒューと音が聞こえる。（マスクからのリークではない）	治療装置の吸気口が閉塞しているか、加温加湿器または呼吸回路が適切に接続されていません。または加湿器フタシールが取り付けられていないか、適切に接着されていません。	治療装置の吸気口が塞がっていないか、またはフィルタが清潔に、正しく取り付けられているかを確認してください。装置、加温加湿器、呼吸回路が適切に接続され、漏れがないことを確認します。加湿器フタシールおよびドライボックスシールが所定位置にあり、適切に取り付けられていることを確認します。必要に応じてシール部分周辺を軽く押して接着させてください。
誤って加湿器に水をこぼした。	水タンクに注水線を越える水が入っています。	加温加湿器に少量の水がこぼれても、装置に影響はありません。加温加湿器にこぼれた水が少量の場合、通常の加温加湿器の使用で蒸発します。しかし大量の水がこぼれた場合、加湿器フタのヒンジからあふれ、家具が破損する可能性があります。 装置から電源を抜いてください。水タンクを取り外し、注水線以下になるまで余分な水を捨て、水タンクは取り外します。加温加湿器を治療装置から取り外し、あふれた水を捨てます。ヒータープレートが冷めたら加温加湿器内部をペーパータオルまたは柔らかい布で拭いてください。必要に応じて加温加湿器底部を乾かし、テーブルが乾燥していることを確認してください。加温加湿器と電源を再度接続し、水タンクを取り付けてください。

アクセサリ

ドリームステーション治療装置には、加温加湿器やセルラーモデム、リンクモジュールなど数種類のアクセサリが利用できます。使用可能なアクセサリに関してはフィリップス・レスピロニクス合同会社または販売店に連絡してください。オプションのアクセサリを使用するときは、アクセサリに同梱されている取扱説明書に従ってご使用ください。

注記：装置のコネクタのピンには触れないでください。ESD（静電放電）の予防措置を講じた場合に限り、このコネクタを接続してください。予防措置には、静電気帯電の発生を防ぐための手段（空気調整、加湿、導電性のフロアカバーの使用、合成繊維ではない衣服など）、装置またはシステムのフレーム、アース線、大きな金属製物体に触れて電気を取り除くこと、リストストラップを使用して身体を装置、システム、またはアース線と電氣的に接続することが含まれます。

ヒートッドチューブがある場合/ない場合の加温加湿器の追加

装置と組み合わせて加温加湿器とヒートッドチューブを使用することができます。ご希望の際は、医療従事者にお問い合わせください。加温加湿器とヒートッドチューブを使用すると、送気に水分を加えることにより、鼻の乾燥や刺激を和らげることができます。

警告：安全のため、加温加湿器を置く場所は、マスクの呼吸回路接続口よりも下になるように、また装置の呼吸回路接続口よりも下になるようにしてください。正しく動作させるため、加温加湿器は水平に置いてください。

注記：設置方法の詳細は、加温加湿器の取扱説明書を参照してください。

SDカードの使い方

ドリームステーションシステムにはSDカードが同梱されています。医療従事者に提供する情報を記録する目的で、装置側部のSDカードスロットに挿入するSDカードが1枚付属しています。医療従事者は、治療の評価のために定期的にSDカードを取り出して提供するよう患者に依頼することがあります。

ドリームステーション用リンクモジュールの使用

リンクモジュールは酸素測定データを受信し、家庭の治療装置や医療施設の治療装置にデータを送信することができます。医療施設においては、リンクモジュールのRS-232（または「DB9」）ポートを用いてパーソナルコンピュータによる遠隔操作をすることができます。

注記：接続や取り外しについては、リンクモジュールに添付されている取扱説明書を参照してください。

注記：この装置はSpO₂アラームは搭載していません。

注記：酸素測定データは表示できません。

リンクモジュールをクリーニングする場合は、治療装置からリンクモジュールを取り外してください。水と中性洗剤で軽く浸した布でリンクモジュールの外側を拭いてください。完全に乾燥させてから、治療装置に接続してください。

廃棄する場合は、治療装置の廃棄方法に従って廃棄してください。

警告：

- この装置の動作に予期しない変化がある場合、異常音または騒音がある場合、この装置を落下させたり、誤使用した場合、水を本体内にこぼした場合、または本体が破損した場合は、電源コードを抜き、使用を中止してください。フィリップス・レスピロニクス合同会社、または販売店に連絡してください。
- 修理および調整は、フィリップス・レスピロニクス合同会社が承認した販売店のみが行えます。未経験者や無資格者が修理や調整を行った場合には、傷害、保証の無効化、または金銭的損害を生じる可能性があります。
- フィリップス・レスピロニクス合同会社が推奨するアクセサリ、取り外し可能な部品、および水以外は使用しないでください。互換性のない部品またはアクセサリを使用することにより、装置の性能に影響が出ることがあります。

酸素の添加

マスクの接続部から酸素を添加できます。装置に酸素を使用する場合は次の警告に注意してください。

警告：

- このシステムで酸素を使用する場合、酸素供給が、医療用酸素の使用に関する当該地域の規制に適合する必要があります。
- 酸素は燃焼を促進します。喫煙中や火気のある所では酸素を使用しないでください。
- 補充酸素をフロー発生器または加湿器の出口に追加する場合は、装置と酸素供給源の間にフィリップス・レスピロニクス製プレッシャーバルブを呼吸回路と直列に装着してください。このプレッシャーバルブは、装置をオフにしたとき、呼吸回路から装置への酸素の逆流を防止します。このプレッシャーバルブを使用しないと、火災が発生する可能性があります。
- ホースのマスク側に酸素を追加する場合、 ≤ 4 リットル/分の酸素流量ではフィリップス・レスピロニクス製プレッシャーバルブは必要ありません。ただし、再使用可能フィルタおよび使い捨てフィルタをフロー発生器に装着する必要があります。再使用可能および使い捨ての両方のフィルタを装着しないと、火災が発生するおそれがあります。

注記：設置方法の詳細は、プレッシャーバルブの取扱説明書を参照してください。

- このシステムで酸素を使用するときは、装置をオンにしてから酸素の供給をオンにしてください。オフにするときは、酸素をオフにしてから、装置をオフにしてください。この順序を守ることで、装置内に酸素が蓄積するのを防ぐことができます。
- 装置を未調整の酸素供給源、または高圧の酸素供給源に接続しないでください。

装置へのDC電源の使用

フィリップス・レスピロニクス製DC電源コードを使用すると、静止したRV車、ボート、キャンピングカーなどで装置を使用することができます。また、フィリップス・レスピロニクス製DC電源コードを使用すると、この装置を12VDCの独立バッテリーで使用できます。

注記：DC電源をご使用の際は、使用前に、DC電源コードが治療装置に確実に挿入されていることを必ず確認してください。医療従事者またはフィリップス・レスピロニクス合同会社に連絡して、治療装置に適したDC電源コードであるかどうか調べてください。

注記：DC電源を自動車のバッテリーから得る場合、自動車のエンジンが稼働している間はこの装置を使用しないでください。装置が破損する可能性があります。

注記：フィリップス・レスピロニクス製DC電源コードのみを使用してください。フィリップス・レスピロニクス製品以外の製品と使用すると、この装置が破損する可能性があります。

DC電源で装置を使用する方法については、DC電源コードに添付された取扱説明書を参照してください。

旅行先に携帯するとき

旅行の際には、機内持ち込み手荷物として携行してください。預け入れる荷物の中に入れた場合、キャリングケースでは装置を十分に保護できません。オプションの加温加湿器を携帯する場合、水タンクは空にしてください。

セキュリティチェックでの手続きを容易にするために、装置の下部には、医療器具であることと、航空機内での使用に適していることを明記する注意書きがあります。セキュリティ担当者がドリームステーションシステムをより理解できるようにこの取扱説明書を携行することをお勧めします。

普段とは異なる電源・電圧の国へ旅行する場合は、電源コードを旅行先の国のコンセントに接続させるために、別の電源コード、または国際用プラグアダプタが必要になることがあります。詳細については、フィリップス・レスピロニクス合同会社または販売店に問合せください。

航空機での旅行

ドリームステーションシステムは、ACまたはDCの電源でも動作するため、航空機内でもご使用いただけます。

注記：モデムまたは加温加湿器のいずれかが装置に取り付けられている場合は、取り外してご利用ください。

装置のクリーニング

警告：感電を避けるため、装置をクリーニングする前に電源コードを壁のコンセントから抜いてください。また、装置を液体に浸さないでください。

1. 装置を電源から外してから、水と中性洗剤で軽く浸した布で装置の外側を拭いてください。装置を完全に乾燥させてから、電源コードを接続します。
2. クリーニング後、装置や呼吸回路部品に破損がないか確認してください。破損した部品がある場合は、交換してください。

フィルタの洗浄と交換

通常の使用条件の場合、リユーザブル花粉フィルタは少なくとも2週間に1度洗浄し、6ヵ月ごとに新しいものと交換してください。オプションの極微細フィルタはディスポーザブルです。30日使用した後、または汚れが目立つようになった場合は交換してください。極微細フィルタは洗浄しないでください。

注記：汚れた花粉フィルタは動作温度上昇の原因となることがあり、装置の性能に影響を与えるおそれがあります。花粉フィルタが破損なく清潔に保たれているか、定期的に点検してください。

この装置にはエアフィルタ確認リマインド機能が備わっています。30日ごとに、フィルタの確認と交換を促すメッセージが表示されます。

注記：このメッセージはあくまで通知です。装置にはフィルタの性能を確認したり、フィルタの洗浄や交換を認識する機能はありません。

1. 装置が動作している場合には、送気を止めます。装置を電源から外します。
2. 装置からフィルタを取り外します。この取扱説明書の「エアフィルタの取り付けと交換」セクションを参照してください。
3. フィルタの汚れまたは破損していないかを確認します。
4. リユーザブル花粉フィルタを洗浄する場合は、まず極微細フィルタを取り外すか（取り付けられている場合）、必要に応じて廃棄します。リユーザブル花粉フィルタを裏表逆さにして、白いうすい湯にぬるま湯を流してごみを洗い流します。次に軽くフィルタを振り、水分を可能な限り取り除きます。取り付ける前に、フィルタを完全に乾燥させます。リユーザブル花粉フィルタに裂け目がある場合は交換します。（交換用フィルタとして使用できるのはフィリップス・レスピロニクス製フィルタのみです）
5. 極微細フィルタが汚れたり、裂けたりしている場合は、交換します。
6. フィルタを再設置します。本取扱説明書の「エアフィルタを設置/交換する」セクションを参照してください。

注記：濡れたフィルタは絶対に装置に取り付けしないでください。洗浄したフィルタは十分な時間をかけて乾燥させてください。

呼吸回路の洗浄

呼吸回路は、初めて使用する前、また、毎日洗浄してください。装置から呼吸回路を取り外します。15または22 mmの呼吸回路を中性洗剤をうすめたぬるま湯でうすいに洗浄します。十分にすすぎ、自然乾燥させます。呼吸回路に破損や磨耗がないか点検してください。必要に応じて廃棄・交換してください。

注記：ヒートドチューブの洗浄方法については、加温加湿器の取扱説明書を参照してください。

修理

この装置には、定期的な保守・点検は不要です。

警告：この装置の動作に予期しない変化がある場合、異常音または騒音がある場合、この装置を落下させたり、誤使用した場合、水を本体内にこぼした場合、または本体が破損した場合は、電源コードを抜き、使用を中止してください。フィリップス・レスピロニクス合同会社、または販売店に連絡してください。

追記

- 注記：** ブルートゥース®のワードマークとロゴはBluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、フィリップス・レスピロニクス合同会社はライセンスに基づきこれらを使用しています。その他の商標および商品名は、それぞれの所有者に帰属します。
- 注記：** ドリームステーションシステムは、治療装置とモバイル機器との間でデータを送信しますが、ユーザーの個人データを保存することはありません。治療装置とモバイル機器との間の接続は、暗号化されています。
- 注記：** この送信機に使用するアンテナはすべての人から30 cm以上距離を離して設置する必要があり、他のアンテナや送信機と同じ場所に配置することや併用することはできません。
- 注記：** フィリップス・レスピロニクス製以外のアクセサリは、お住まいの地域の無線周波数曝露に関するガイドラインに違反する可能性があるため、使用しないでください。

電波法および電気通信事業法

この装置は国内の電波法および日本電気通信事業法への適合が認証されています。この装置は改造できません（改造した場合認証番号が無効になります）。

仕様

環境

動作温度：5°～35℃
保管温度：-20°～60℃
相対湿度（動作中及び保管中）：15%～95%（結露のないこと）
大気圧：101～77 kPa（0～2286 m）

本体

寸法：長さ15.7 cm × 幅19.3 cm × 高さ8.4 cm
重さ（装置本体および電源）約1.33 kg

耐用年数

ドリームステーションシステムおよびリンクモジュールの耐用年数は5年間です。

準拠している規格

本装置は次の規格に適合するように設計されています：

IEC 60601-1医用電気機器の基礎安全および基本性能に関する一般要求事項
ISO 80601-2-70睡眠時無呼吸治療装置
EN 60601-1-2電磁両立性
RTCA/DO-160Gセクション21、カテゴリーM、Emission of Radio Frequency Energy（無線周波エネルギーの放射）

IEC 60601-1分類

電撃に対する保護の形式：クラスII機器
電撃に対する保護の程度：BF形装着部
水の浸入に対する保護の程度：
装置本体：防滴、IP22
リンクモジュール：防滴、IP22
80W電源アダプタ：防滴、IP22
動作モード：持続的

電氣的定格

AC電源使用時の消費電流（80 W電源アダプタの場合）：100～240 VAC、50/60 Hz、2.0～1.0 A
注記：電源装置は医療機器の一部です。
DC電源使用時の消費電流：12 VDC、6.67 A
ヒューズ：患者が交換可能なヒューズはありません。

無線仕様

動作周波数範囲：2402～2480 MHz
最大出力電力：4.0 dBm
変調：GFSK、P/4 DQPSK、8DQPSK

吸入ポートフィルタ

花粉フィルタ：100%ポリエステル
7～10ミクロンサイズで88%有効
極微細フィルタ：配合化繊
0.5～0.7ミクロンサイズで95%有効

定格デュアルナンバー騒音放射値（ISO 4871に準拠）

A加重放射音圧レベル：
装置：25.8 dB（A）、2 dB（A）の誤差を含む。
加温加湿器付き装置：27.9 dB（A）、2 dB（A）の誤差を含む。

A加重音圧レベル：
装置：33.8 dB（A）、2 dB（A）の誤差を含む。
加温加湿器付き装置：35.9 dB（A）、2 dB（A）の誤差を含む。

注記：ISO 80601-2-70:2015に記載されている騒音検査法に従い、規格基準ISO 3744およびISO 4871を用いて決定された値。

圧力精度

圧力範囲：4.0～20.0 cmH₂O（0.5 cmH₂O刻み）

最大静的圧力精度、ISO 80601-2-70:2015準拠：

圧力	静的精度
10 cmH ₂ O	± 0.5 cmH ₂ O

静的圧力精度は1.20%の測定誤差を含みます。

最大動的圧力変動、ISO 80601-2-70:2015準拠：

圧力	10 BPM	15 BPM	20 BPM
< 10 cmH ₂ O	± 0.3 cmH ₂ O	± 0.4 cmH ₂ O	± 0.6 cmH ₂ O
≥ 10.0 ～ 20 cmH ₂ O	± 0.4 cmH ₂ O	± 0.7 cmH ₂ O	± 0.9 cmH ₂ O

動的圧力精度は2.10%の測定誤差を含みます。

注記：すべての検査は、パフォーマンスチューブ 22mmおよびヒートッドチューブの両方を用いて、加温加湿器あり、およびなしで行いました。

最大フローレート（通常）

		試験圧力（cmH ₂ O）				
		4.0	8.0	12.0	16.0	20.0
22 mm呼吸回路	患者接続ポートにおける測定圧（cmH ₂ O）	3.7	7.7	11.2	14.9	18.9
	患者接続ポートにおける平均流量（l/分）	85	124	131	132	128
15 mm呼吸回路（ヒートッドチューブまたは通常の呼吸回路）	患者接続ポートにおける測定圧（cmH ₂ O）	3.7	7.4	10.9	14.9	18.8
	患者接続ポートにおける平均流量（l/分）	86	127	134	133	117

廃棄方法

装置は地域の規制に従って廃棄してください。

EMC情報

この装置は、耐用年数を通してメンテナンスを行わなくてもEMC基準を満たすよう設計されています。ドリームステーション治療装置は、EMCの不明なその他装置が存在する環境に設置される可能性が常にあります。その他装置の近くに設置したことによって、お使用の治療装置が影響を受けていると考えられる場合は、装置同士を離して設置してください。

圧力およびフロー精度

ドリームステーション治療装置は、この取扱説明書で規定する圧力精度およびフローレート精度の範囲内で作動するよう設計されています。圧力精度および/またはフローレート精度がEMC妨害の影響を受けていると考えられる場合、電源を切って装置を別の場所に移してください。それでも装置の性能に影響が出る場合、使用を中止してフィリップス・レスピロニクス合同会社または販売店にご連絡ください。

SpO₂およびパルスレート精度

ドリームステーション治療装置は、センサーの製造メーカーの取扱説明書で規定されている精度範囲内で血中酸素飽和度および脈拍数のデータを測定するよう設計されています。4時間以上データ測定ができた際に、「良好なオキシメータ接続」のメッセージが装置に表示されます。EMC妨害の影響を受けていると考えられる場合、電源を切って装置を別の場所に移してください。それでも装置の性能に影響が出る場合、使用を中止してフィリップス・レスピロニクス合同会社または販売店にご連絡ください。

電磁波放射線に関するガイダンスおよび宣言-この装置は、下記に指定する電磁場環境内における使用を目的としています。この装置を使用する場合は、下記に該当する使用環境であるかを確認してください。

放射テスト	準拠の状況	電磁場環境 - ガイダンス
放射RF CISPR 11	グループ1	この装置はRFエネルギーを内部的な機能のためにのみ使用しています。そのため、放射RF量は非常に少なく、近くの電子機器に干渉を及ぼすことはほとんどありません。
放射RF CISPR 11	クラスB	この装置は、一般家庭および公共の低圧電源供給ネットワークに直接接続された施設を含む、あらゆる施設での使用に適しています。
高調波放射 IEC 61000-3-2	クラスA	
電圧変動/フリッカー放射 IEC 61000-3-3	準拠	
無線周波エネルギーの放射 RTCA/DO-160Gセクション21	カテゴリーM	この装置は、商業航空機客室内での用途に適しています。

電磁波耐性に関するガイダンスおよび宣言-この装置は、下記に指定する電磁場環境内における使用を目的としています。この装置を使用する場合は、下記に該当する使用環境であるかを確認してください。

耐性テスト	IEC 60601テストレベル	準拠レベル	電磁場環境 - ガイダンス
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	±8 kV接触 ±15 kV空气中	±8 kV接触 ±15 kV空气中	床は木製、コンクリートまたはセラミックタイルであること。床が合成材料の敷物で覆われている場合は、相対湿度は少なくとも30%以上であること。
EFT/バースト IEC 61000-4-4	±2 kV電源線 ±1 kV入出力線	±2 kV供給本線 ±1 kV入出力線	本線の電源品質は、一般家庭または病院環境と同等であること。
サージ IEC 61000-4-5	±1 kV差動モード ±2 kVコモンモード	±1 kV差動モード ±2 kVコモンモード	本線の電源品質は、一般家庭または病院環境と同等であること。
電力供給入力線の電圧低下、短時間遮断、および電圧変動 IEC 61000-4-11	<5% U_T (U_T で>95%低下) 45度単位で0.5サイクル間 70% U_T (U_T で30%低下) 25サイクル間 <5% U_T (U_T で>95%低下) 5秒間	<5% U_T (U_T で>95%低下) 45度単位で0.5サイクル間 70% U_T (U_T で30%低下) 25サイクル間 <5% U_T (U_T で>95%低下) 5秒間	本線の電源品質は、一般家庭または病院環境と同等である。装置の患者が電源停電時に使用継続を必要とする場合は、装置の電源を無停電電源またはバッテリーから取得することを推奨します。
電源周波数 (50/60 Hz) の磁界 IEC 61000-4-8	30 A/m	30 A/m	電源周波数磁場は、典型的な病院や家庭環境の典型的な場所での一般的レベルであること。

注記： U_T は、テストレベル適用前のAC本線の電圧です。

電磁波耐性に関するガイダンスおよび宣言-この装置は、下記に指定する電磁場環境内における使用を目的としています。この装置を使用する場合は、下記に該当する使用環境であるかを確認してください。

耐性テスト	IEC 60601テストレベル	準拠レベル	電磁場環境 - ガイダンス
伝導RF IEC 61000-4-6	3 Vrms 150 kHz～80 MHz 6 Vrms 150 kHz～80 MHzのアマチュア無線およびISMバンド	3 Vrms 150 kHz～80 MHz 6 Vrms 150 kHz～80 MHzのアマチュア無線およびISMバンド	携帯用および移動用RF通信機器を使用する場合は、この装置のどの部分（ケーブルを含む）からも 30cm 以上の分離距離を維持すること。 以下の記号が表示された機器を近づけると、干渉が生じる場合があります。 
放射RF IEC 61000-4-3	10 V/m 80 MHz～2.7 GHz	10 V/m	

保証

この製品はご購入後1年間（以下「保証期間」という）、製品仕様に従い作動することを保証します。通常の方法*で使用されたにも関わらず、保証期間内にこの製品が正しく機能しなくなった場合、この製品を無償修理もしくは交換いたします。この保証は譲渡できず、この製品の所有者にしか適用されません。前述された措置は唯一の解決手段とします。事故、誤用、乱用、過失、改造、天変地変などによって生じた損傷や、この製品の添付書類（取扱説明書、添付文書）に明記された使用条件においてこの製品を使用または保守しなかったために生じた損害、さらに材質や製造に関係のない瑕疵を要因とした損害は、この保証の対象となりません。

フィリップス・レスピロニクス合同会社およびフィリップス・レスピロニクス合同会社に許可を受けた以外の人物によってこの製品が修理または改造された場合、この保証は適用されません。また、この保証は、アクセサリおよび交換部品に適用されません。

この製品の売買や使用により生じる可能性のある経済的損失、利益の損失、間接費、あるいは間接的、特異的または付随的な損害に対して、フィリップス・レスピロニクス合同会社は一切の責任を負いかねます。

この保証で認められている権利を行使するには、フィリップス・レスピロニクス合同会社の各地域営業所・出張所・駐在所または地域の機器供給会社にご連絡ください。

*通常の方法とはこの製品に添付してある取扱説明書、添付文書に明記されている使用方法を示します。

フィリップス・レスピロニクス合同会社
www.philips.co.jp/respironics/
製造販売業者：フィリップス・レスピロニクス合同会社



Respironics Inc.
1001 Murry Ridge Lane
Murrysville, PA 15668 米国



製造販売業者：フィリップス・レスピロニクス合同会社

REF 1123918

1123918 R03
LZ 05/24/2016
Japanese